

事業者排出量削減報告書

(宛先) 京都府知事		令和7年7月31日					
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）		報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名）					
宇治市宇治琵琶33		宇治市長 松村淳子					
		電話番号：0774-20-8726					
主たる業種	行政	細分類番号	9	8	2	1	
事業者の区分	京都府地球温暖化対策条例施行規則	<input checked="" type="checkbox"/> 第12条第1項第1号 <input type="checkbox"/> 第12条第1項第2号又は第3号 <input type="checkbox"/> 第12条第1項第4号					
計画期間	令和5年4月から令和8年3月まで						
基本方針	令和2年度～令和4年度を基準値として、令和8年度までに20%の削減を目標とする。						
計画を推進するための体制	市長を統括責任者とする環境管理事務局が中心となり、地球温暖化対策を推進する。各部署における所属長及び環境推進員が中心となって地球温暖化対策に繋がる取組を進める。						
温室効果ガスの排出の量	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (令和2～4年度)	第1年度 (令和5年度)	第2年度 (令和6年度)	第3年度 (令和7年度)	増減率	
	事業活動に伴う排出の量	13,770.6 トン	15,539.2 トン	15,382.4 トン		12.3 パーセント	
	評価の対象となる排出の量	13,611.7 トン	15,539.2 トン	15,382.4 トン		13.6 パーセント	
	実績に対する自己評価	令和6年度の排出量は基準年度比では増加しているが、前年度比ではエネルギー使用量が減少しており改善が見られた。					
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	事業の用に供する建築物の用途	原単位の指標	基準年度 (令和4年度)	第1年度 (令和5年度)	第2年度 (令和6年度)	第3年度 (令和7年度)	増減率
	オフィス等	事業活動に伴う排出の量 職員数	9.70	10.94	11.02		13.20 パーセント
		事業活動に伴う排出の量 ( )					パーセント
	実績に対する自己評価	原単位としている職員数が減少しているため、原単位当たり排出量は悪化しているが、エネルギー使用量は減少しているため、各職員の省エネの徹底を引き続き呼びかける。					
重点的に実施する取組の実施状況	基準年度 (令和4年度)	0	0	0		備考	
	第1年度 (令和5年度)	0	0	0			
具体的な取組及び措置の内容	令和5年度	施設改修時の高効率機器及び再生可能エネルギー関連設備の導入、各施設のZEB化を進める。					
	令和6年度	施設改修時の高効率機器及び再生可能エネルギー関連設備の導入、各施設のZEB化を進める。					
	令和7年度	施設改修時の高効率機器及び再生可能エネルギー関連設備の導入、各施設のZEB化を進める。					
通勤における自己の自動車等を使用することを控えさせるために実施した措置	措置の内容	公共交通機関の利用促進。					
	上記の措置を実施した結果に対する自己評価	各職員が自主的に実施することとしており、結果の集約は行っていない。引き続き利用の促進を図る。					
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減した量	区分	第1年度 (令和5年度)	第2年度 (令和6年度)	第3年度 (令和7年度)	備考		
	森林の保全及び整備によるもの	0.0 トン	0.0 トン				
	地域産木材の利用によるもの	0.0 トン	0.0 トン				
	再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの						
	グリーン電力証書等の購入によるもの						
	温室効果ガス排出量の削減又は吸収の量の購入によるもの	0.0 トン	0.0 トン				
合計	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン				
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	緑のカーテン事業、親子で学ぶゼロカーボンツアー、事業者向けゼロカーボンセミナー、宇治市地球温暖化対策パートナーシップ会議による啓発活動、環境啓発イベントの開催						
特記事項							

注 1 該当する□には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。  
 2 「細分類番号」とは、統計法（平成19年法律第53号）第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。  
 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。  
 4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。  
 5 「重点的に実施する取組の実施状況」とは、温室効果ガスの排出の量を削減するために重点的に実施した取組の実施率を地球温暖化対策指針で定める方法により算出して記入し、その算出の根拠となる資料を添付してください。